

☹️☹️ 迫り来る戦争と

改憲☹️☹️

日米は「台湾有事は日本有事」として「日米共同作戦計画」を作り、国民議論がないまま、計画を動かし始めている。琉球弧を軍事要塞化し、軍隊が島々を移動して敵攻撃をするという。攻撃すれば反撃されるのは当然。その時、島の人々の命は失われる。人命喪失やむなしの本音を隠し「国民保護法」(2004年)を国は作成、県も国に従って「国民保護計画」を作成した(05年)。今、市町村も同調し始めた。その動きは憲法原理にそうものなのか。

むしろ市町村および個人は「日米共同作戦計画」中断、ミサイル配備撤回、「敵基地攻撃能力」兵器の島々への持ち込み禁止の方向、そして外交努力にエネルギーを結集すべきではなかろうか。学習会を開催し、改憲への動きについても認識を共有化したい。

日時：2022年 **7月17日** (日)、開演：p.m. 2時 (開場1時半) ~ 4時

場所：**ているる** (那覇市西町3-11-1)

主催：**東アジア共同体・沖縄(琉球)研究会**

共催：**ISF(独立言論フォーラム)**

参加費：無料(ただし資料代500円)。

問合せ先：090(1946)6702 (宮城)

基調講演：**高良鉄美** (参議院議員・琉大名誉教授・憲法)

題：「国会の憲政事情」

報告者：**宮城恵美子** (東アジア研会員・元琉大教員・平和論等)

題：「日本国憲法とコスタリカ憲法の平和主義の比較」

司会：**与那覇恵子** (東アジア研共同代表・元名桜大教授)

挨拶：**木村朗** (東アジア研共同代表・鹿大名誉教授)